

「今ここにある問題」として
～差別とは何か、差別を見抜く力の育成～



第40回 研究集会 特集号

府立人研だより

大阪府立学校人権教育研究会事務局
2020年12月22日 第6号発行

2020年も残すところあとわずかになりましたが、いかがお過ごしでしょうか。
寒くて空気の乾燥した毎が続いています。年末に向けて忙しい日々ですが、
どうか無理なさらさないよう、あたたかくしてご自愛ください。



講演①

マイクロアグレッションとレイシズム ～日常に潜む見えない差別・排除～

講師：金友子さん（立命館大学 国際関係学部 国際関係学科 准教授）

ヘイトスピーチに繋がる日常的で些細なマジョリティ側の意識や言動が、それを受けるマイノリティ側に心的エネルギーの減退、自尊心の喪失など大きな影響を与えています。マイクロアグレッションに注目することで、差別とは何かを学び、差別を見抜く力の育成に繋がっていきます。

講演②

子どものいのちを守る ～自死の現状と防止について考える～

講師：北條達人さん（認定NPO法人 国際ビフレンダーズ 大阪自殺防止センター 理事長）

日本の自殺者数は近年減少傾向にあるとはいえ年間2万人を超えており、実際に10代から30代の死因の第1位が自殺です。自傷行為を繰り返すなど、自殺念慮のある子どもへの対応や予防のためにどのような啓発ができるのかについて、相談の現場での経験を交えてお話ししていただきます。

報告および講演③

コロナ禍で明らかとなった日本の人権をめぐる状況

報告：教材部会、講師：北口末広さん（近畿大学 人権問題研究所 主任教授）

11月27日（金）の研究部会（教材部会）での交流を元に「コロナ禍の中で教職員が生徒に対して何を語るか」について報告します。そして、新型コロナウイルス感染症に伴い、直接的・間接的な差別が様々な分野で発生している状況を踏まえ、総括的なお話をさせていただきます。感染禍の中でかきたてられた不安心理がフェイク情報を拡散し、新たな偏見や差別を生み出しています。多様なデータを検証しながら、偏見の存続要因と克服のための課題について考えていきます。

第40回研究集会 開催概要

1. 申し込み期間 2020年12月22日(火)～2021年3月12日(金)

※【参加申込書】に必要事項を記入の上、メールまたはFAXでお申し込みください。

2. 動画配信期間 2021年1月22日(金)10時～2021年3月30日(火)17時

3. 資料代として1,000円が必要です。

※所属校宛にお送りする請求書に記載された振込先にお支払いください。

※詳細は【開催要項】をご確認ください。

◆◇◆事務局員のつぶやき◆◇◆

私にとって2020年は、決して忘れることのできないターニングポイントになりました。みるみる間に社会の状況が変化し、初めこそ不安を感じずにはいられませんでしたが。これまでのやり方が通用しない激動の1年を過ごしてきて、最近では今年だからこそチャレンジできたのだと前向きに捉えられるようになってきました。今年の経験を力に変えて来年も頑張っていきたいと思います。2020年を振り返りながら、また2021年はどんな年になるのか思いを馳せ、1月22日(金)から始まる研究集会にご参加いただければ幸いです。



何年か後に2020年を振り返る時、コロナ禍がきっかけで日本社会が変わったように感じるかもしれません。忘れてはいけないのは、諸外国と比べて高校生の自尊感情が極端に低い現象も、子どもへの虐待や無縁死・孤独死が増えている状況も、差別事象が頻繁に発生し続ける現状も、2020年以前から続いていることです。決して感染症のせいだけではありません。「自分たち」はどんな社会を作っていきたいのか。それを真面目に考え、皆で真剣に議論することが(何か恥ずかしいことのように)避けられてきたのはいつからでしょうか。でも、その帰結が現在の状況なのだとしたら…。府立人研の役割の一つは、その議論の場を提供することです。みなさんも、ぜひ一緒に！

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1-7-106 府立柴島高等学校内

(逓送便は「府立人研」とお書きください。)

TEL・FAX 06-6324-3822(直通)(お電話の場合は、火曜日をお願いします。)

E-mail furitsujinken@nifty.com(お問い合わせは、なるべくEメールをご利用ください。)

URL <http://furitsujinken.in.coocon.jp/>



↑府立人研HPも
チェックしてくださいね

「府立人研だより」の掲示・配布をお願いいたします。各校の人権教育の充実にお役立ていただけましたら幸いです。